

2017年1月吉日

母子手帳フォーラム ～No One Left Behind～

中村安秀

国際母子手帳委員会代表

大阪大学大学院教授

特定非営利活動法人 HANDS 代表理事

主催：国際母子手帳委員会 特定非営利活動法人 HANDS

後援：社会福祉法人 恩賜財団母子愛育会 愛育研究所

日時：2017年2月27日（月）午後2時から5時

会場：恩賜財団母子愛育会 4階研修室 東京都港区南麻布5丁目6番8号

アクセス <http://www.boshiaiikukai.jp/guide.html> 愛育クリニックからも入れます。

趣旨：「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」（持続可能な開発目標：SDGs）で大きく取り上げられた“**No One Left Behind**”（だれひとり取り残さない）。それを受けて2016年11月に第10回母子手帳国際会議の東京宣言で世界に呼びかけた「**Utilizing the MCH Handbook to achieve “No Woman, Child, Family, Society Left Behind”**」という課題を、日本で具体的に実行するために、関係者があつまってそれぞれの立場からの意見や経験を自由に語り合いたいと考えています。そして、日本国内・海外の様々な取り組みの情報を相互に交流することにより、デジタル母子手帳や低出生体重や課題のある赤ちゃんのための母子手帳サブブックの開発に関する協力が発展し、新しい発想が生まれることを期待しています。

この第1回の母子手帳フォーラムでは参加者の積極的な関与を期待しています。今後は研究費の応募などを通して、デジタル母子手帳や母子手帳サブブックの開発といった実践につながるアクションを興していきたいと考えています。

内容：基調講演 「だれひとり取り残さない母子手帳」 中村安秀（大阪大学）

報告 「アフリカ ケニアの電子母子手帳」 杉下智彦（東京女子医大）

「日本の母子手帳導入事例」（株式会社NTTドコモ、株式会社博報堂 DY メディアパートナーズ）

「低出生体重のための母子手帳サブブック」 中野玲二（静岡県立こども病院）

その他に、小さなことでもいいので、皆様方からの報告をお待ちしています。

協力： Panasonic NPO サポート ファンド for アフリカ 2016

参加される方の人数確認のため、

下記によりご出欠のお返事をいただけますと幸いです。

(送付先) MAIL : svcaban@cg8.so-net.ne.jp (板東あけみ)

(FAX : 03-5738-7135 ※TEL&FAX のため繋がりにくい場合もあります)

出席いたします。

	お名前	職場名	肩書
1			
2			
3			
4			
5			

欠席いたします。

お名前 _____